

■社会貢献・連携事業

◎大阪医科大学、大阪薬科大学と連携協力・推進協定を締結

学生・若手研究者も交え、フレキシブルな共同研究創出の場を



「三大学医工薬連携科学教育研究機構」のロゴマーク。3つのリングはそれぞれ関西大学、大阪医科大学、大阪薬科大学を表し、スクールカラーで表現している

関西大学は大阪医科大学、大阪薬科大学と共に構築してきた医学・工学・薬学・看護学を融合した「医工薬連携科学」分野において、3大学が保有するリソースを活用し、より密接で高度な相互協力を推進していくことに合意。昨年12月25日、連携協力・推進協定を締結した。

本協定は、2009年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム」に採択されて以降、10年間継続してきた事業を更に発展させるものであり、教育・社会貢献に加え、研究も含めて次のステージへ進むことを目的に締結。医療・福祉の発展に工学の力は欠かせないものとして、共同で組織する「三大学医工薬連携科学教育研究機構」を拠点に、各分野の相互理解を助ける教育プログラムの拡充、および学部学生や大学院生を含む若手研究者を交えた柔軟な共同研究創出の場を醸成し、その成果を社会へ還元していく。

当日、芝井敬司学長は「本学の理工系分野の発展はこの交流があってこそ。今後もお互いに助け合いながら、高度で密接な関係を築いていきたい」と思いを述べた。



▲協定調印式で握手を交わす(左から)芝井敬司 関西大学学長、大槻勝紀 大阪医科大学学長、政田幹夫 大阪薬科大学学長

◎明治大学と合同IRシンポジウムを開催

「私立大学におけるIRの可能性」に迫る



▲パネルディスカッションの様子

昨年12月22日、関西大学と明治大学は、合同IRシンポジウム「私立大学におけるIRの可能性」を関西大学梅田キャンパスにて開催した。本シンポジウムは、学内外のデータを調査・分析し、大学の意思決定や継続的な改善活動、教育の質向上を支援するIR (Institutional Research) の役割が高まる昨今を背景に、私立大学のIRについて理解を深め、教育・研究改革を実行し、継続的改善への機動力となるIRの在り方について議論することを目的とする。

当日は、「IRの活用と可能性～IRはプログラムレビューを支援できるか」をテーマに、明治大学の山本幸一氏(教学企画事務室)が、IRオフィスの設計とデータ分析事例からIRの活用について報告。続いて、関西大学の川瀬友太氏(教育開発支援室・教学IR室)が教学IRのデザインや事例からその課題や可能性について報告した。その後、「私立大学だからこそこのIRのあり方」をテーマにパネルディスカッションも行われ、全国各地の大学関係者や教育関連の企業から参加した約150人の聴講者が熱心に耳を傾けた。

堺市と関西大学との地域連携事業「関大モーニング食堂」「関大イブニング食堂」を開催

人間健康学部の安田忠典教授のゼミと堺市は、地域連携事業初の試みとして、昨年12月14日に「関大モーニング食堂」を、続く1月18日に「関大イブニング食堂」を、堺キャンパスの食堂にて実施した。

「関大モーニング食堂」は、子どもの居場所の機能充実が目的。当日は、朝7時から浅香山小学校の児童とその家族、地域の方々70人が集合し、皆で一緒に元気に「関大カレー」を堪能した。その後、ゼミ生が堺保健センターの事前研修で学んだスキルを発揮して、歯磨き指導を実施。「朝活」による交流で、楽しい時間を過ごした。

一方、「関大イブニング食堂」は、子ども達に晩ご飯や触れ合いの時間を提供することが目的。当日は、子どもたちや地域の方々50人が集合し、ゼミ生と共に堺キャンパス内の施設で遊んだり宿題をしたりしてにぎやかに過ごした。その後、皆で晩ご飯を準備し、からあげ丼と味噌汁を楽しく食べた。

中心となったゼミ生は「ゼロから自分達で考え、作り上げるという貴重な体験ができた。もっと盛んにしていきたい」と、今後への意欲を語った。

地域の小学生と共に、楽しく食べ、学び、交流する



◀モーニング食堂で朝食を楽しむ様子



イブニング食堂で遊ぶ学生と児童▶

Evening

◎梅田キャンパス公認団体ZAC Studioが、プログラミング体験イベントを開催

小学生から楽しめるプログラミング体験教室を開催



プログラミングスキルの修得をはじめ、梅田キャンパス事業におけるスタートアップカフェ大阪のイベントへの参加など、これからの社会に必要なスキル等を身に付けるための活動を行うZAC (Zeal Action Community) Studioが、昨年11月3日、4日、ATC (大阪南港アジア太平洋トレードセンター)にて開催された子ども向け先端テクノロジー体験イベント「ATCロボットストリート」

でプログラミング教室を開催した。当日は、ワークショップゾーンで小型ロボットを使ったプログラミング教室「OZOBOTの冒険」を実施。約30人の小学生が参加し、大いに盛り上がった。

また、2月17日には、同じくATCにて開催されたプログラミング体験イベント「KIDS TECH EXPO」に参加し、「OZOBOTを活用したプログラミング教室」を実施した。ゲームクリアを目指し、自分で考えて小型ロボットを動かす内容に、集まった小学生は楽しみながら、しっかりとプログラミング的思考を学んだ。

ZACには、現在25人の学生が在籍し、定期的にプログラミングの勉強会やミーティングを実施。イノベーション創生センター主催のイノベーターズトークにも参加して起業のノウハウを学んだり、各種ビジネスコンテストに参加したりと積極的に活動している。

